

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立第三中学校

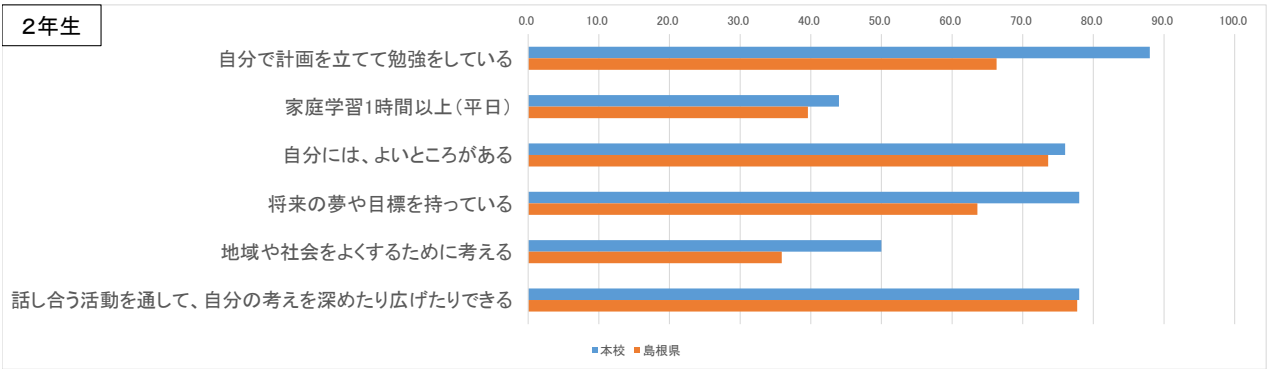
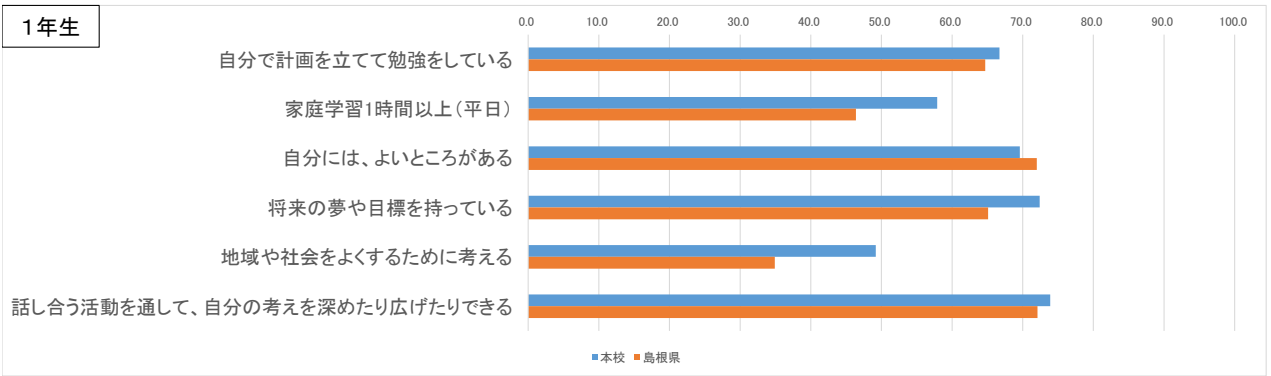
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
国語	○ほとんどの項目で県や全国よりも平均正答率を上回っていた。特に、漢字の読み書きの正答率は高い水準にある。 ●説明的な文章を読み取る問題は、目標値を下回っているため、説明的な文章を読む際には文章の内容理解だけではなく、文章構成をつかむ活動を続けていきたい。また、文章を書く活動を行っても推敲する機会が少ないので、文章を推敲する時間を作っていきたいと思う。	○「読むこと」以外の項目は、県や全国よりも正答率が高く、年間を通して取り組んだ漢字テストやワークシートを使った記述する活動等の成果が見られた。 ●「読むこと」は県・全国よりも正答率が低い。長文をじっくりと読み、文章から著者が言おうとしていることを読み取る力を付けていく必要がある。
数学	○基本的な問題の正答率は、県や市町村と比べると約5P高い。 ●文字式に課題が見られ、県や市町村と比べて、正答率が低い傾向にある。	○県や全国に対して、昨年よりも平均点が向上しておりよい傾向にある。学習に向かう姿勢がよくなっていることも一因であると考えられる。また、思考力や活用を問う問題の正答率は昨年同様に比較的良好い。 ●昨年の課題であったドリル学習の不足が原因と考えられる基礎力については、向上の兆しが見えるがまだ十分とは言えない。
英語	○リスニングの様々な英文の聞き取りでは、正答率が目標値を上回っていた。 ●特に語形・語法の知識・理解と場面に応じて書く英作文の正答率が目標値を大きく下回っていた。また、授業の内容を理解できていない生徒、授業の復習をしていない生徒が多くいたことも改善する必要がある点である。	○対話文を聞いて内容について答える問題は、県平均に比べて良好な結果であった。 ●場面・状況に応じて書く条件英作文や自分の意見や気持ちについて書く活動に苦手意識を持っている生徒が多い。自分の意見や気持ちを3文以上の英文で書く活動を継続的に行う予定である。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
意識	○平日の家庭学習の時間は県平均よりスコアが高い。また、将来の夢や目標をもっている割合は県平均よりも高い。 ○地域や社会をよくするために何をすべきかを考える生徒の割合は県平均よりも高い。総合的な学習の時間で取り組んでいる「まっえ未来プロジェクト」が効果を上げていると考えられる。 ●自分には良いところがある、他人から認められていると思う生徒の割合は県平均より低い。自己肯定感を高めるために日々の活動や学校行事を通して頑張ったことやできたことを評価するようにしたい。	○グラフにあるどの質問も県より高い。家庭学習として取り組んでいる自学ノートや、総合的な学習の時間で行った福祉学習や進路学習、学年部全体で取り組んでいるローテーション道徳等が生徒の前向きな意欲につながっていると思われる。 ●県よりも高いが、家庭学習1時間以上取り組む生徒を増やしたい。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】 1年生 69 名 2年生 50 名 (欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)